

■貸出金残高

(単位：百万円)

■中間期末残高	平成28年度中間期末			平成29年度中間期末		
	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門
手形貸付	55,487	55,487	—	69,917	69,917	—
証書貸付	1,195,280	1,194,198	1,081	1,221,996	1,219,662	2,333
当座貸越	163,154	163,154	—	176,990	176,990	—
割引手形	7,320	7,320	—	8,407	8,407	—
合計	1,421,243	1,420,161	1,081	1,477,311	1,474,977	2,333

(単位：百万円)

■平均残高	平成28年度中間期			平成29年度中間期		
	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門
手形貸付	54,605	54,605	—	65,400	65,400	—
証書貸付	1,191,176	1,190,254	922	1,216,111	1,214,356	1,754
当座貸越	153,489	153,489	—	163,945	163,945	—
割引手形	8,045	8,045	—	7,999	7,999	—
合計	1,407,317	1,406,395	922	1,453,456	1,451,702	1,754

(注) 国際業務部門の国内店外貸建取引の平均残高は、月次カレント方式により算出しております。

■貸出金の残存期間別残高

(単位：百万円)

種類	期別	期間						合計
		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超	期間の定め のないもの	
貸出金	平成28年度中間期末	346,050	281,461	216,248	125,575	393,913	57,993	1,421,243
	平成29年度中間期末	377,785	288,915	206,971	124,621	420,960	58,055	1,477,311
うち 変動金利	平成28年度中間期末		103,294	79,022	46,485	136,080	55,362	
	平成29年度中間期末		99,790	77,301	43,787	151,291	55,735	
うち 固定金利	平成28年度中間期末		178,167	137,225	79,090	257,833	2,630	
	平成29年度中間期末		189,124	129,669	80,834	269,669	2,320	

■貸出金担保別内訳

(単位：百万円)

種類	平成28年度中間期末	平成29年度中間期末
有価証券	442	496
債権	3,131	1,611
商品	120	104
不動産	181,016	175,267
その他	33	211
計	184,744	177,691
保証	788,524	710,019
信用	447,975	589,599
合計 (うち劣後特約貸出金)	1,421,243 (4,000)	1,477,311 (5,000)

■支払承諾見返の担保別内訳

(単位：百万円)

種類	平成28年度中間期末	平成29年度中間期末
有価証券	—	136
債権	256	414
商品	—	—
不動産	186	3,921
その他	—	—
計	442	4,472
保証	4,512	82
信用	6,572	7,383
合計	11,528	11,938

■貸出金使途別内訳

(単位：百万円・%)

区分	平成28年度中間期末		平成29年度中間期末	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
設備資金	644,847	45.37	694,575	47.02
運転資金	776,396	54.63	782,736	52.98
合計	1,421,243	100.00	1,477,311	100.00

■貸出金業種別内訳

(単位：百万円・%)

業種別	平成28年度中間期末		平成29年度中間期末	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
国内 (除く特別国際金融取引勘定分)	1,421,243	100.00	1,477,311	100.00
製造業	123,807	8.71	126,946	8.59
農業、林業	2,473	0.17	2,972	0.20
漁業	3,182	0.22	3,781	0.25
鉱業、採石業、砂利採取業	3,035	0.21	3,772	0.25
建設業	68,846	4.84	73,448	4.97
電気・ガス・熱供給・水道業	22,498	1.58	24,858	1.68
情報通信業	9,298	0.65	8,818	0.59
運輸業、郵便業	47,813	3.36	49,975	3.38
卸売業、小売業	173,032	12.17	180,491	12.21
金融業、保険業	41,537	2.92	42,664	2.88
不動産業、物品賃貸業	218,874	15.40	239,205	16.19
各種サービス業	180,214	12.68	194,456	13.16
地方公共団体	157,029	11.05	141,492	9.57
その他	369,599	26.01	384,425	26.02
特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—
政府等	—	—	—	—
金融機関	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	1,421,243	—	1,477,311	—

■中小企業等向け貸出残高

(単位：百万円・%)

	平成28年度中間期末	平成29年度中間期末
中小企業等向け貸出	1,070,840	1,146,209
総貸出に占める割合	75.34	77.58

(注) 1. 本表の貸出金残高には、特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。
 2. 中小企業等とは、資本金が3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員数が300人(ただし、卸売業、サービス業は100人、小売業は50人)以下の会社および個人をいいます。

■貸倒引当金内訳

(単位：百万円)

	平成28年度中間期					平成29年度中間期				
	期首残高	増加額	減少額		中間 期末残高	期首残高	増加額	減少額		中間 期末残高
			目的使用	その他(注)				目的使用	その他(注)	
一般貸倒引当金	2,035	2,389	—	2,035	2,389	2,857	3,313	—	2,857	3,313
個別貸倒引当金	10,531	9,900	183	10,348	9,900	9,174	7,269	216	8,958	7,269
うち非居住者向け債権分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	12,567	12,289	183	12,383	12,289	12,031	10,583	216	11,815	10,583

(注) 洗替による取崩額

■貸出金償却額

(単位：百万円)

	平成28年度中間期	平成29年度中間期
貸出金償却額	—	—

■特定海外債権残高

該当ありません。

■貸出債権の状況

(1) リスク管理債権

(単位：百万円)

区分	平成28年度中間期末	平成29年度中間期末
破綻先債権 (a)	1,218	1,555
延滞債権 (b)	28,756	24,413
小計 (c) = (a) + (b)	29,975	25,968
3カ月以上延滞債権 (d)	—	—
貸出条件緩和債権 (e)	5,271	6,535
合計 (f) = (c) + (d) + (e)	35,246	32,504

用語のご説明

破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金のうち、会社更生法、破産法、民事再生法等の法的手続きがとられている債務者や手形交換所において取引停止処分を受けた債務者に対する貸出金です。

延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、「破綻先債権」及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金です。

3カ月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で「破綻先債権」及び「延滞債権」に該当しない貸出金です。

貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で「破綻先債権」、「延滞債権」及び「3カ月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。

(2) リスク管理債権に関する担保等の状況

(単位：百万円)

	平成29年度中間期末				
	破綻先債権	延滞債権	3カ月以上延滞債権	貸出条件緩和債権	合計
貸出金の残高 (A)	1,555	24,413	—	6,535	32,504
担保等による保全額 (B)	893	13,332	—	1,563	15,790
未保全額 (A) - (B)	661	11,081	—	4,971	16,714

(注) 担保等による保全額は有効担保額によります。

(3) 金融機能再生緊急措置法に基づく開示基準ベース

(単位：百万円)

区分	平成28年度中間期末	平成29年度中間期末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,061	8,006
危険債権	22,345	18,568
要管理債権	5,271	6,535
(小計)	36,678	33,110
正常債権	1,398,195	1,460,076
合計	1,434,873	1,493,187
(小計) の債権額に占める割合	2.55%	2.21%

用語のご説明

注) 資産の査定は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、当行の中間貸借対照表の社債(当該社債を有する金融機関がその元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第2条第3項に規定する有価証券の私募によるものに限る。)、貸出金、外国為替、その他資産中の未収利息及び仮払金、支払承諾見返の各勘定に計上されるものについて債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のとおり区分するものであります。

1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権をいいます。

4. 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1.から3.までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

(4) 破産更生債権等に関する保全・引当状況

(単位：百万円)

	平成29年度中間期末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	正常債権	合計
債権残高 (A)	8,006	18,568	6,535	1,460,076	1,493,187
担保等による保全額 (B)	4,652	9,954	1,563		
貸倒引当金 (C)	3,353	3,895	1,470	1,842	10,562
保全・引当率 $\frac{(B) + (C)}{(A)}$	100.00%	74.58%	46.43%		

(注) 1. 担保等による保全額は有効担保額によります。

2. 要管理債権に対する貸倒引当金は、要管理先債権に対する一般貸倒引当金を記載しております。